



“日常”と皆様の御支援に感謝して

4月から始まった1学期ですが、臨時休校があったことから夏休みを削減し、7月31日(金)に小中学部、高等部、それぞれの校舎ごとに1学期終業式を行いました。

コロナ禍で、様々な学習活動の変更や行事の中止もありましたが、児童生徒が学校で学べるという“日常”のありがたさをひひひと感じています。また、改めて、何を学ばせるか、どう学ばせるか等を教師が真剣に考えながら過ごした1学期でした。また、春山での「畑の学校」の関係者の皆様や、船引高校や田村市をはじめ、地域の皆様方の御理解と御支援にあらためて感謝申し上げます。

校長 菅野 美恵子

7月13日(月) 第2回目の「畑の学校」を行いました。



6月にポットに種を蒔いて芽が伸びてきた人参の植付け、白菜の種まき(直播き)をしました。今回も農林事務所等から5名の皆様に御支援いただきました。



7月3日(金) たむら支援学校後援会役員会が行われました。

白石会長様をはじめ、たくさんの役員の皆様にご参加いただき、令和2年度の事業計画等について審議していただきました。また、地域とつながる活動の工夫やさらなる会員拡大にむけての御助言をたくさんいただき、皆さまに応援していただいていることを実感いたしました。なお、今年度の総会は、感染症拡大防止のため総会は書面決議とさせていただくことになりましたので、決議結果は後日報告させていただきます。



～はたらく力を育てるために～

中学部「作業学習」全員が、家庭班か、農工芸班かどちらかに所属して、それぞれ取り組んでいます。



牛乳パックを使った仕事 ミシンでの縫製 ひも織り作業。

小学部段階からいろいろな場面で行います。

高等部 前期 産業現場等における実習



今回は、3年生のみが校外での特別実習を行いました。写真は、「田村市授産場」での実習風景です。あいさつ・報告がきちんとでき、作業内容を理解し、集中して取り組んでいました。

7月29日(水) 全校清掃。校舎に感謝。

小学部1年生から高等部3年生まで、全員が参加。雑巾やモップを持って床みがきや、窓ふき、下駄箱の掃除も行いました。普段から、自分で片付けや簡単な掃除をすることで役割意識を育て卒業後のはたらく力につなげていきます。

